

経済学部 カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①経済社会が抱えるさまざまな課題に対する関心と問題意識をもつことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。 ④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治や法とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。 ⑦よき経済人としての倫理観に基づいて、経済社会のあり方やそこでの望ましい行動を思考し判断できる。 ⑧経済社会の課題を自ら発見し、課題解決に向けて経済学を基盤とした知識を応用することができる。 ⑨経済社会における個人や文化の多様性について理解を深めて尊重することができる。 ⑩すすんで他者と協働して、経済社会の問題解決に向けて行動することができる。
	【思考力・判断力・表現力】	
	【主体性・多様性・協働性】	

*1 : ALはアクティブラーニングを意味し、授業15回中ALゼロは空白、1~5回は△、6~10回は○、11~15回は◎を記載

野分	新科目名	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ										AL (*)1
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
学科必修幹科目	ミクロ経済学入門	EK1101	経済活動を行う個別の経済単位である消費者（家計）や生産者（企業）の需要・供給行動とともに、市場での交換を通じて決まる取引量や価格の決定メカニズムを学ぶ。	○	○	○	○	○	○					
	マクロ経済学入門	EK1102	GDPや物価指数などマクロ経済の動きを見る上で不可欠な指標を理解し、それらが実際にどのように動いているのかを学ぶ。	○	○	○	○	○	○					
	専門基礎演習	EK2101	3年次以降の専門演習での研究活動に備え、社会への問題意識を抱き、その解決策を模索する訓練を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	専門演習	EK3101	各自が研究テーマを設定したうえで、研究報告書を作成して、4年次で卒業研究を履修するための学問的基础を形成する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	卒業研究	EK4101	各自が研究テーマを設定したうえで、卒業論文を作成することを最終目的とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
学科基幹科目（選択）	統計学入門	EK1301	度数分布を理解し、平均、分散、標準偏差等を計算できるようにする。基本的な連続型確率変数として、正規分布を説明する。	○	○	○		○						
	経済史入門	EK1302	「歴史的事象を経済的に理解すること」を通して「資本主義システムの成立過程と特質を解明すること」が目的である。	○	○	○	○	○						
	日本経済入門	EK1303	戦後日本経済が辿ってきた大まかな歴史を、復興期、高度成長期、安定成長期、バブル崩壊以降の4期に分け学び、現在の日本経済がいかにして成立してきたのかについて理解する。	○		○	○			○				
	財政学入門	EK2301	わが国の財政の現状とその問題点を理解する。課税の経済効果や望ましい課税に求められる原則について理解する。我が国の年金制度の直面する問題点の理解を深める。	○	○	○	○	○		○				
	金融論入門	EK2302	現実の金融諸問題についての理解を深めるために、初級レベルとしての金融理論及び分析手法や実際の金融知識を獲得する。特にマクロ金融に関連したテーマを扱う。	○	○	○		○		○				
	国際経済学入門	EK2303	比較優位に基づく自由貿易の利益と保護主義による社会的損失を理解する。また国境を越える取引を総括した国際収支表の理解を通じて貿易黒字・赤字の真の意味を理解できるようにする。	○	○	○	○	○		○				
	デジタル・プレゼンテーション	EK1304	ノートパソコンによるプレゼンソフトの実習で、コミュニケーション能力を養う。聴衆の興味を引く、効果的なプレゼンができるスキルを身につける。		○			○		○	○		○	
	データ表現技法	EK1305	表計算ソフトの実習で経済学に必要なグラフの作成スキルを習得する。データに適した分かりやすいグラフを作成できる能力を養成する。	○	○					○	○		○	
	アカデミックスキルズ	EK3301	卒業研究や卒業論文を進める際に最低限必要なスキル（資料調査・プレゼン・文章作成など）を身につけ、他の学生にも教えられるようにする。	○	○			○		○	○		○	
	経済キャリア講座	EK3302	1・2年次までの経済学の学びやDP到達度を確認し、自己理解を進める。また、卒業研究や卒業論文を進める際に必要な能力を理解する。							○	○		△	
経済理論と情報	統計学	EK2304	クロス分析や回帰分析を中心に、より高度な分析ツールを用い、経済・社会の動きの特徴を捉えられるようにする。	○	○	○	○							
	経済数学	EK2305	中級レベルの経済学に登場する数学のうち、微分法について、応用上最も重要な部分について講義する。特に、ラグランジュ乗数法について深い数学的理解をえることを目的とする。	○		○		○						
	ミクロ経済学1	EK2306	中級ミクロ経済理論のうち、完全競争市場を前提とするものとして、消費者行動理論・生産者行動理論・一般均衡理論の3つを学ぶ。（小出・佐藤）	○	○		○	○		○				
	ミクロ経済学2	EK2307	中級ミクロ経済理論のうち、不完全競争市場に関するものとして、ゲーム理論の応用・情報の経済学・独占市場の理論の3つを学ぶ。	○	○		○	○		○				
	マクロ経済学1	EK2308	「マクロ経済学入門」で学習した内容をさらに進め、基本的なマクロ経済学体系を学習しながら、最終的にはAD-AS分析を習得することを目的とする。	○	○		○	○		○				
	マクロ経済学2	EK2309	景気循環や経済成長といった、生産設備量が変化するような長期に関するマクロ経済理論を学習する。	○	○		○	○		○				
	計量経済学	EK2310	データを用いて最小2乗推定量を計算する。最小2乗推定量、仮説検定等の回帰分析の結果を理解する。	○	○	○					○			
	経済データ分析	EK2311	経済分析に必要な基本統計量から相関・回帰分析（最小二乗法）までをデータで計算しながら、基本概念と処理方法を理解する。	○	○	○					○		○	
	社会経済学	EK2312	歴史的な視点から資本主義経済の特徴と現状について学び、その関連で経済学の歴史についても触れる。現代の様々な問題を、資本主義経済の特徴からより深く捉えることができるようになる。	○	○			○		○	○	○		
	現代経済学	EK2313	論理的思考力、基本的なデータ分析手法を実践を通じて身に付ける。	○	○	○	○						○	

法制度と公共政策	経済法	EK2331	経済法は一般消費者の利益を守るための法律であり、独占禁止法などを中心とする「経済法」の知識は、とりわけ企業法務にかかわる人には必要不可欠なものである。この授業では経済法の歴史的背景や具体的な事例を紹介しつつ、経済法についての理解を深めることを目的とする。	(○)		○	○	○	○	○	○	
	行政法	EK2332	出生・婚姻・家の新築や増改築・公的施設利用・保育所への入所・公立学校教員による体罰や学校事故・生活保護や介護保険・税金など、私たちの生活に関わる「行政」に関する法について学ぶ。	(○)		○	○	○				
	行政学	EK2333	多様な行政サービスの提供など、私たちの生活に大きな影響を与えている行政の役割と活動、仕組みを理解するとともに、行政を観察し、分析する空間である行政学の基礎理論を学ぶ。	(○)	○	○	○				○	
	政治学	EK2334	古代から近代前半の政治思想を対象に、政治社会の善と正義とはなにかを原理的（概念的に）考えることができるようになる。			○	○	○	○	○	○	△
	公共政策演習1	EK1307	公務員志望の学生に対して、公務員となるために身につけなければならない必要最小限の知識の修得と論理的思考力を高めるために、特に憲法をテーマに演習問題を中心に行う。	(○)	○		○				○	
	公共政策演習2	EK1308	公務員志望の学生に対して、公務員となるために身につけなければならない必要最小限の知識の修得と論理的思考力を高めるために、特に民法をテーマに演習問題を中心に行う。	(○)	○		○				○	
	公共政策特別演習1	EK2335	公務員志望者向けの科目である。教養試験に対応するための実践的な講義であり、数的処理、特に判断推論と空間把握を中心に行う。なお、数的処理分野の充実を図るために、毎回問題演習が課され、自主的に学生が勉学するよう指導する。			○	○		△	○	○	
	公共政策特別演習2	EK2336	公務員志望者向けの科目である。教養試験に対応するための実践的な講義であり、数的処理、特に数的推理と資料解釈を中心に行う。なお、数的処理分野の充実を図るために、毎回問題演習が課され、自主的に学生が勉学するよう指導する。			○	○		△	○	○	
学科関連科目	企業連携演習1 a	EK1309	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	○	○		○	○	○		○
	企業連携演習1 b	EK1310	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	○	○		○	○	○		○
	企業連携演習2 a	EK2337	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	○	○		○	○	○		○
	企業連携演習2 b	EK2338	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	○	○		○	○	○		○
	企業連携演習3 a	EK3314	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	○	○		○	○	○		○
	企業連携演習3 b	EK3315	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	○	○		○	○	○		○
	企業連携講座1	EK1311	初年次学生向けの金融リテラシーに関する内容を扱う。企業からの寄附講座として、最前線の金融パーソンから実際の話や最新のトピックスを開き、リスク管理の重要性	○					○	○	○	
	企業連携講座2	EK2339	2年次以上の学生向けに、地元の企業や金融に関する内容を扱う。企業からの寄附講座として、ビジネスパーソンから実際の話を聞き、経済学的理解をより深いものとする	○	○				○	○	○	△
	企業研究1	EK2340	現代社会における企業について、製造業を中心とした企業の現場にかけ、最前線の息吹や諸問題に直接触れ、現地で五感を通して系統的に学ぶことができる。	○				○	○	○	○	○
	企業研究2	EK2341	名古屋県の経済と経営に光を当て、その多様な実像と課題について、企業や行政などの第一線で活躍する経営者・専門家による講義を通して学ぶことができる。	○	○			○				○
	経済プロジェクト演習	EK2342	企業連携演習で培った提案力を活かした、プロジェクトの計画と遂行を通じて、社会人スキルを涵養するとともに、経済学部への帰属意識を喚起し、経済学部に貢献する学生（SA等）を育成する。					○	○	○	○	○
	経済実務1	EK1312	経済学の学びを深め、社会での活躍の機会を増やすため、より実践的な力を身に付ける。資格検定試験の難易度に応じて、単位	○		○	○		○			
	経済実務2	EK1313	経済学の学びを深め、社会での活躍の機会を増やすため、より実践的な力を身に付ける。資格検定試験の難易度に応じて、単位	○		○	○		○			
	経済実務3	EK1314	経済学の学びを深め、社会での活躍の機会を増やすため、より実践的な力を身に付ける。資格検定試験の難易度に応じて、単位	○		○	○		○			
留学	国際理解1	EK1315	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。							○	○	
	国際理解2	EK1316	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。							○	○	
	国際理解3	EK1317	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。							○	○	
	国際理解4	EK1318	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。							○	○	
	国際理解5	EK1319	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。							○	○	
	国際理解6	EK1320	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。							○	○	
	国際理解7	EK1321	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。							○	○	
	国際理解8	EK1322	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。							○	○	